

教育広聴会

中堅教員に聞く

—県北地区—

ある教育実践はどうあるべきか。
生徒指導
生徒理解に基づいた教師と生徒の望
ましい人間関係はどうあるべきか。更
に、人間性豊かな生徒指導はいかにす
べきか。

○進路指導

本年度最後の教育広聴会は、十一月
二十五日(火)午後一時から、福島市
全通会館で開催されました。

今回の県北地区教育広聴会は「中堅
教員に聞く」のテーマで行われました
が、席上、あいさつの中で、邊見教育
長は「教育諸条件の整備について鋭意
努力をしているが、学校内外における
問題や改善しなければならない点がな
いわけではない。児童生徒が、健康で
豊かな生活が送れるよう学校教育に携
わっている我々は、家庭や地域社会と
密接な連携を保ちながら、県民の信頼
にこたえなければならない」と述べま
した。

○健康教育

啓發的経験を重視しての進路指導及
び学校、社会、家庭三者の連携を密に
した進路指導はどうあるべきか。

○養護教育

児童生徒一人一人を考えた健康づ
くり——からだづくり、体力づくり、心
づくり——はどうしたらよいのか。



熱心な意見発表

後期中等教育との関連をどうしたらよ
いか。

出席者は次のとおりです。

△主催者側▽

邊見榮之助 県教育委員会教育長

佐藤昌志 県教育委員会教育長

伊勢呂裕史 同 総務課長

大槻光雄 同 義務教育課長

添田信一 同 高校教育課長

松川昭三 同 県北教育事務所長

古内俊直 同 総務課主幹

須田啓二 小浜中学校教諭

三浦賢一 福島東高等学校教諭

斎藤弘司 岳陽中学校教諭

蓬田道郎 福島高等学校教諭

日下実 保原中学校教諭

明石一夫 福島第三小学校教諭

長尾昭二 福島養護学校教諭

佐藤秀一郎 同 館塚佳淑 小坂小学校教諭
菅野美美子 二本松南小学校教諭
斎藤弘司 岳陽中学校教諭
蓬田道郎 福島高等学校教諭
日下実 保原中学校教諭
明石一夫 福島第三小学校教諭
長尾昭二 福島養護学校教諭
佐藤剛 同 県北教育事務所次長
本田同 館塚佳淑 小坂小学校教諭
菅野美美子 二本松南小学校教諭
斎藤弘司 岳陽中学校教諭
蓬田道郎 福島高等学校教諭
日下実 保原中学校教諭
明石一夫 福島第三小学校教諭
長尾昭二 福島養護学校教諭
佐藤秀一郎 同 館塚佳淑 小坂小学校教諭
菅野美美子 二本松南小学校教諭
斎藤弘司 岳陽中学校教諭
蓬田道郎 福島高等学校教諭
日下実 保原中学校教諭
明石一夫 福島第三小学校教諭
長尾昭二 福島養護学校教諭
佐藤剛 同 県北教育事務所次長

△意見発表者▽

菅野美美子 二本松南小学校教諭

斎藤弘司 岳陽中学校教諭

蓬田道郎 福島高等学校教諭

日下実 保原中学校教諭

明石一夫 福島第三小学校教諭

長尾昭二 福島養護学校教諭

須田啓二 小浜中学校教諭

三浦賢一 福島東高等学校教諭

斎藤弘司 岳陽中学校教諭

蓬田道郎 福島高等学校教諭

日下実 保原中学校教諭

明石一夫 福島第三小学校教諭

長尾昭二 福島養護学校教諭

佐藤秀一郎 同 館塚佳淑 小坂小学校教諭
菅野美美子 二本松南小学校教諭
斎藤弘司 岳陽中学校教諭
蓬田道郎 福島高等学校教諭
日下実 保原中学校教諭
明石一夫 福島第三小学校教諭
長尾昭二 福島養護学校教諭
佐藤剛 同 県北教育事務所次長

昭和56年度福島県学生寮入寮者募集

◎男子寮

場所

千葉県松戸市大字松戸638の4

{上野——常磐線松戸駅下車}
(20分) (徒歩10分)

建物構造

鉄筋コンクリート造3階建
(一部4階)

募集人員

1年生 45名程度

◎女子寮

場所

東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目

72番地9号

{新宿——京王線幡ヶ谷駅下車}
(5分) (徒歩15分)

建物構造

鉄筋コンクリート造3階建

募集人員

1年生 13名程度

入寮申込受付期間

昭和56年1月8日～昭和56年2月28日

入寮予定期

昭和56年4月

寮費

男子寮 月 21,000円 女子寮 月 19,000円
程度の見込み(食費を含む)

申込受付場所

福島県教育庁高等学校教育課内

財団法人 福島県学生寮入寮申込受付係

電話番号 福島県 21-1111(内線3933)

「募集案内」「申込用紙」は上記受付場所又は県内高等学校及び各
教育事務所に用意しております。

なお、詳細については同所におたずねください。

財団法人 福島県学生寮